

白い小箱

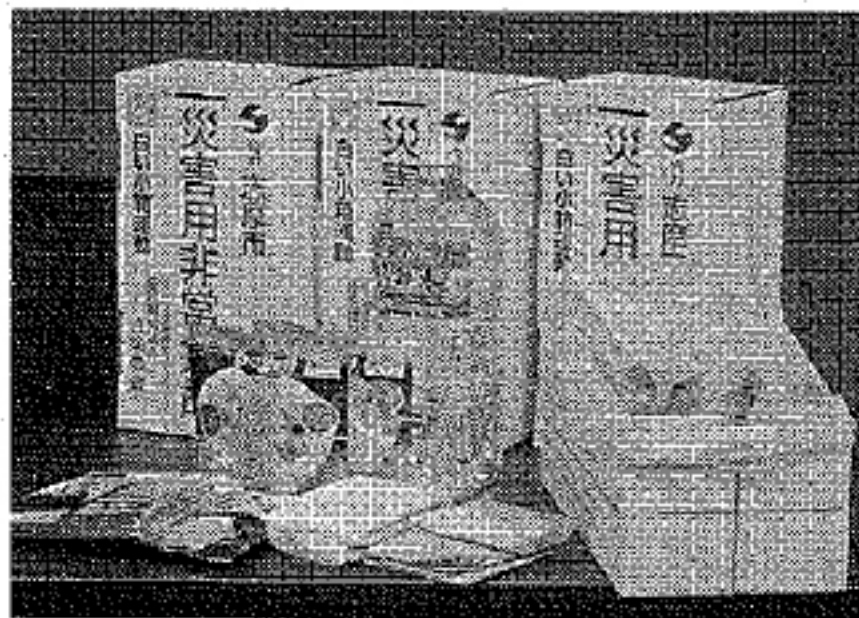
備えて

非常食を詰めた「白い小箱」を家庭に備える運動を進める「日本非常食推進機構」(四日市市)は「防災の日」の九月一日午後一時から、志摩市阿見町鶴方のマックスパリュ鶴方店で、小箱五百個を市民に無料配布する。一世帯につき一箱で先着順。

七月に志摩市と結んだ災害時に向けた食糧備蓄などに関する協定に基づく活動。被災時には、同様の協定を結んでいる未被災の市町村から小箱を回してもらい、未配備の世帯にも届ける。

今回の配布費用は、運動に協賛する同市阿見町鶴方の社会福祉法人「百楽の会」が、市内の企業や各種団体に協賛金として協力を呼び掛けた。

小箱には、飲料水二リットル入りペットボトル一本や、保存食の乾燥加工米「アルファ米」の「五目ご飯」と「えびピラフ」各一食、固形ブドウ糖、簡易トイレなどが入っている。食糧は一人の一日分程度



飲料水や非常食などが入った白い小箱

非常食入り 500個無料配布

で、各家庭が備える非常食用食糧の一部として活用してもらう。賞味期間は五年間、三年ごとに小箱を交換し、

阿見です

古い箱は発展途上国に贈る。推進機構は、後日、志摩市内で追加の配布も検討している。(丸山崇志)